

第24回ローカル・ガバナンス研究会のご案内

平成28(2016)年6月19日

関係者各位

ローカル・ガバナンス研究センター
センター長 江藤 俊昭

拝啓 皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、山梨学院大学ローカル・ガバナンス研究センターでは、「地域包括ケアシステムと自治体福祉政策」というタイトルでの研究会を、下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

I 日時 : 平成28(2016)年7月30日(土) 14時15分～17時

II 場所 : 山梨学院クリスタルタワー6階講義室

※大学正門を入り、すぐ左側の8階建ての建物です。

III 研究会内容

テーマ「**地域包括ケアシステムと自治体福祉政策－その現状と課題**」

＜テーマの趣旨＞

2025年には団塊の世代が後期高齢者(75歳)を迎える年にあたり、自治体ではこの10年の間に介護予防や見守りシステムを構築しない限り、介護保険財政の破綻や介護難民が増える危険性が指摘されている。

こうしたことから国では、2015年度に施行された改正介護保険法の中では、地域包括ケアシステムの整備が自治体の責務とされた。地域の中での要支援者への見守り支援を自治体独自で組み立てることが求められているのみならず、医療と介護の連携や、認知症支援の重点化など、市町村には多くの課題が一気に押し寄せている。

しかしながら、これらの課題に効果的に取り組むには、高齢・障害・児童・生活困窮など福祉部門の縦割りの弊害を乗り越えるだけでなく、自治体内の他部局との連携や、社会福祉協議会や事業所との連携、住民との協働など、様々な現実的な課題が浮き彫りになっている。今回の研究会では、こうした問題を徹底的に考えてみたい。

IV タイムスケジュール

【基調講演】14時15分～15時10分

「地域包括ケアシステムと自治体福祉政策－その現状と課題」

さわやか福祉財団戦略アドバイザー(元富士宮市地域包括支援センター長) 土屋幸己氏

【シンポジウム】15時20分～17時00分

シンポジストによる事例報告 15時20分～16時00分

ディスカッションと質疑応答 16時00分～17時00分

<シンポジスト>

南アルプス市福祉総合相談課 河野慎治氏 (社会福祉士)

山中湖村地域包括支援センター 渡辺和代氏 (保健師)

<助言者>

土屋幸己氏

<コーディネーター>

竹端寛 (山梨学院大学法学部政治行政学科教授)

V 申し込み : 下記メールアドレス宛に参加される方のお名前とご所属を書いてお送り下さい。

VI 参加費 : 1,000 円 (資料代等)

申し込み・お問い合わせ先 (メールのみ)

山梨学院大学ローカル・バランス研究センター内学会事務局
事務局長 外川 伸一

〒400-8575 山梨県甲府市酒折 2-4-5

e-mail : logos@ygu.ac.jp

※大学正門前国道 411 号道沿いに大学駐車場があります。
当日は第 2 駐車場を開放しますのでご利用ください。